

## 会 議 録

会議の名称		令和6年度第4回虹色学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和7年2月13日（木）開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市立研究学園中学校 会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	佐久間 健、野尻 敏弘、槇 幸子 三田部 勇、川村 靖子 研究学園中学校：校長 板谷 亜由美、教頭 小飼 美保 研究学園小学校：校長 岡田 太郎、教頭 細田 愛		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 課長補佐：瓜阪 恵理名 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議題		1 学校評価について 2 来年度に向けて ・令和7年度虹色学園グランドデザインについて		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 協議 1 学校評価について 5 授業参観（6時間目） 6 協議 2 来年度に向けて ・令和7年度虹色学園グランドデザインについて 7 諸連絡 8 閉会			

## <審議内容>

### 1 開会

三田部座長：令和6年度第4回虹色学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。会議を進行するにあたり書記を虹色学園の槇さんをお願いします。→承認

### 2 挨拶

三田部座長：今日は協議と授業参観もあるので、いろいろな御意見をいただき来年度に繋げていけるようどうぞよろしくお願ひいたします。

板谷委員：いろいろな御意見をいただき来年度の教育活動に活かしていきたい。本日はよろしくお願ひいたします。

### 3 前回の議事録の確認

野尻委員：・サポーターズでクリスマスコンサートを地域一般開放し開催した。SNSを使って広報をお願いし、地域の人を呼ぶ機会を作り100名以上の参加があった。就学前の子どもの参加や高齢者の参加もあり、地域の防災拠点となる学校を知ってもらう役割も担え、有意義なイベントだった。

・先生たちにアンケートを取った。Q&Aを作り問い合わせを少なくする取り組みをしていく。サポーターズの活動協力金で足りない備品の寄贈。保護者に対して先生方の理解を得る。

三田部座長：SNSはどのように取り入れたのか。

野尻委員：地域のイベントを企画している団体【けんがく活動団体連絡会】にお願いしインスタに載せてもらった。

三田部座長：学生の受け入れについて今後考えていくが、学校にも学生にも還元できるような関係になればと思っているので、また御相談させてください。

川村委員：クリスマスコンサートの後、児童クラブ限定だが、児童クラブの保護者である埴さんに依頼しクリスマス会を実施した。サポーターズの繋がりによって保護者と繋がりをもつことができ、少し進んだと思う。

小飼委員：今後、防災なども意識し考えていけるといい。

### 4 協議 1 学校評価について

野尻委員：毎年の変化を知りたい。昨年度の増減が欲しい。総合評価の視点が必要。市全体で数値をもっているのか。

事務局：学校評価は学校が個別でやっている。学校評価とは別に全国学力調査のデータはある。

野尻委員：一回のアンケートだけで評価してしまうのはもったいない。PDCAサイクルをまわして分かりやすくしていくのがよい。体力は昨年度より上がっていると思うが評価されていないのはもったいない。保護者への情報発信が必要。マーケティングをもっとした方が評価があがる。スポーツフェスティバルも小中一貫がいい。芸術鑑賞や運動活動は昨年度よりやっている印象がある。先生

たちが配信できない部分をサポーターズで補っていく。

事務局：どのくらいの頻度でホームページをアップしているのか。

岡田委員：小学校はスクリレ週2回、ホームページが課題（名前記載など）。

野尻委員：サポーターズは広報誌を年に2～3回。

事務局：スクリレからリンクを張り付け、簡単にホームページを見てもらえる方法があるといい。

野尻委員：中学校はかなりの頻度でホームページがアップされている。

三田部座長：また来年度の活動に活かしてもらえれば。

## 5 授業参観（中学校→小学校）

三田部座長：子どもたちの生き生きした姿が見られて良かった。昔との授業スタイルが違うことを実感した。

## 6 協議 2 来年度に向けて ・令和7年度虹色学園グランドデザインについて

野尻委員：CSについて保護者は理解していないので、補足が必要。

岡田委員：スクリレ配信でお知らせする。

三田部座長：優しい言葉で補足するなど。

野尻委員：表現にカタカナが多く一般的ではない。日本語的な表現の方が分かりやすいのではないか。当事者意識が重要である。簡潔なキーワードがあるといい。

岡田委員：学校の中でも検討しながら考えていく。

野尻委員：先生の働き方改革として45時間は守れているのか。

岡田委員：県で決まっている。

野尻委員：書いてある以上しっかり評価してほしい。

岡田委員：良好な労働環境もあると思うが、子どもの成長、職場環境など、総合的な幸せの働き方がある。

野尻委員：子どもたちだけではなく、先生たちも幸せを優先した学校作りをしてもらいたい。

野尻委員：不登校対策、フリースクールのことを入れてみたらどうか。

三田部座長：グランドデザインのスタイルは。小学校と中学校で出口が違うのではないか。

岡田委員：出口は9年生である。国や市の方針に従ってその都度、作っている。

野尻委員：グランドデザインのモデルはなんなのか。

事務局：平成22年からある。それまでは学校要覧の形でそれぞれの学校で作成していた。目標や手段を明確にして、保護者や地域の人にも見てもらおうと今の形になった。

野尻委員：計画目標や計画期間を定め5～10年のデザインにして、それを基に毎年の行動計画や行動目標を立てるようにしていくのではないか。

岡田委員：国や市の方針に従い、その都度作り替えていく。

野尻委員：モニタリングする仕組み、動かしていく仕組みが見えない。マーケティングやプロモーションの仕方。やっていることが気づかない、ただ終わるだ

けなのもつたいない。上手な見せ方が必要。他市のやり方とかの参考事例があるといい。

岡田委員：ロールモデルがなんなのか難しいが、つくば市が一番進んでいる。

事務局：グランドデザインの研修はないが、学校運営・経営の研修はあるので、そこに落としていくことも必要だと思うが、まだそこまでの広がりはない。

野尻委員：並木や土浦の中高一貫教育の学校の説明がとても上手だった。県や市の上位組織による情報発信が大事ではないか。教育委員会などで議論してもらえば。

事務局：相談しておきます。

川村委員：グランドデザインとは外れるが、学校としてやったことを見える化してもらえると分かりやすい。

三田部座長：貴重な意見をいただいたので、来年度に向けて検討していただきたい。

## 7 諸連絡

岡田委員：防災については地域の方と協力した取り組みが必要。来年度はCSを通してできるといい。

細田委員：令和6年度CS推進会議は全日程を終了し、来年度はCS協議会となる。委員の任期は1年ごとになるため、委員の選出は後日連絡。1年間、会議の運営に協力いただきありがとうございました。

事務局：CS協議会という形になりますが、今年度してきたことと特に変わることはない。実際に動いていただいているので、来年度は更に必要な活動などの話し合いを一緒に進めていくことになる。委員の方が先生たちに寄り添い、地域と共に子ども達を支えていく、素晴らしい関わりだと思った。3月15日研修会・情報交換会がある。虹色学園の取り組みを好事例として発表していただく予定。最後にアンケート記入の協力をお願い。

## 8 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。